

令和5年度 英語コミュニケーション学科主催
第19回英語教育シンポジウム

言語活動を 効果的に行うための 教師の支援について

～英語による問いかけやフィードバックに焦点を当てて～

言語活動を中核に据えた授業づくりが小中高等学校で求められ、
言語活動の充実や言語活動によって育成した資質や能力の評価に関心が集まっています。
教師の重要な役割の1つである、英語によるやり取りやフィードバックについて考えてみたいと思います。

第1部においては、本学卒業生による授業実践の報告を行い、
第2部においては、言語活動を効果的に行うための支援やフィードバックについて
ともに考える一日にしたいと思います。是非、ご参加ください。

令和5年10月22日(日) 13:00～16:00

会場：東京家政大学 板橋キャンパス 15号館1階151A講義室

最寄駅：埼京線「十条駅」下車徒歩5分 ※お車でのご来校はご遠慮ください。

入場無料・要申込

お申し込み：右記のQRコードよりお申し込みください。

お問い合わせ：英語コミュニケーション学科
<eigo@tokyo-kasei.ac.jp>



第1部 実践報告(13:00～14:00)

「私の実践一日々の授業づくり」

報告者：桜井冴子先生(鴻巣市立川里中学校教諭, 2016年3月卒)

第2部 ワークショップ(14:15～16:00)

「言語活動を効果的に行うための 教師の支援について」

～英語による問いかけやフィードバックに焦点を当てて～

講演者：津久井貴之先生(群馬大学講師)

【主催・企画】東京家政大学 人文学部 英語コミュニケーション学科

【共 催】東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 英語・英語教育研究専攻

【住 所】〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

